

【みなさんへ】

小学校4年生の国語の教科書にのっている「ごんぎつね」を書いた新美南吉は、半田市出身の童話作家です。2023年7月30日、南吉は110回目のたんじょう日を迎えます。たんじょう日に開催するお祝いのセレモニーで「ごんぎつね」を朗読してくれる小学生を募集します。24人で読みつなぐ朗読リレーです。練習は4月から始めます。読み方の練習だけでなく、作品の舞台を歩いたり分からない言葉を調べたりします。楽しくそして深く「ごんぎつね」を知ることができるチャンスです。あなたもみんなと朗読リレーに参加してみませんか。

【保護者の方へ】

新美南吉記念館では2013年、南吉生誕100年の年に「ごんぎつね」朗読リレー事業を行いました。元NHKアナウンサーで子どもの「話し言葉」を育てる活動を続ける山根基世さんと地元の朗読グループによる指導の下、分からない言葉を調べたり作品の舞台になった場所を歩いたり、朗読の技術を磨くだけでなく言葉で表現することも学びました。

南吉生誕110年を迎える2023年、再び同じ事業を行います。山根さんは、子どもの言葉を育てる大切な場所として「地域のつながり」を挙げています。しかし地域のつながりが希薄な今、学校や家庭など限られた場所で限られた人とだけ過ごす環境は、子どもの言葉を育てるという意味では充分ではありません。この事業では、異なる地域や年齢の人たちが集まり「ごんぎつね」の朗読をつくりあげていきます。普段話す機会が少ない人たちと一つの目標に向かって取り組む時間は、子ども自身が「言葉」について考える貴重な経験になるでしょう。

朗読は、後日録音し、当館のビデオシアターで常時上映する「ごんぎつね」の動画にも使用します。



▲南吉生誕100年（2013年）に行なった朗読リレーの練習（左）と発表会の様子（右）

【募集要項】

1. 内 容 「ごんぎつね」を24パートに分けそれぞれ担当する部分を朗読して頂きます。
2. 対象/定員 ・半田市在住の現在小学2年生から5年生までの児童。
・24名（各学年6名ずつ）
（参加条件） ・原則全8回の練習、リハーサル、本番、録音に参加できること（p3を参照）
3. 応募方法 p4の参加申込書に記入のうえ、1月21日（土）～2月10日（金）の間に新美南吉記念館へ提出していただくか、QRコードから申込みフォームでお申込みください。（参加申込書は記念館HPからダウンロード可）
※応募者が定員を超えた場合は学年別に公開抽選を行ないます。
※応募状況及び抽選の有無は2月12日（日）に記念館HPでお知らせします。

抽選日：2月19日（日） 10時30分～ 新美南吉記念館

※公開抽選は必ずしもご参加頂く必要はありません。当日、欠席された方には抽選後速やかに結果をお知らせいたします。

4. 練習・本番などの日程

	日 程	時 間	会 場	備 考
説明会	3月4日（土）	13:30～15:30	クラシティ半田ホール	
練習①	4月2日（日）			
練習②	4月16日（日）	13:30～16:30	南吉記念館・岩滑	文学散歩
練習③	5月7日（日）	13:30～15:30	クラシティ半田ホール	
練習④	5月21日（日）			
練習⑤	6月4日（日）			
練習⑥	6月18日（日）			
練習⑦	7月2日（日）			
練習⑧	7月16日（日）			
リハーサル	7月29日（土）	午前・午後	アイプラザ半田	
リハ・本番	7月30日（日）	午前・午後		午前/リハ 午後/本番
録音	8月19・20日（土・日）	午前	雁宿ホールスタジオ	19・20日のいずれか

※4月16日は南吉記念館周辺をバスと徒歩で移動しながら南吉や「ごんぎつね」に関連のある場所を巡ります。

5. 指 導 山根基世（元NHKアナウンサー）／ 南吉童話お話の会 でんでんむし

山根基世／1971年、NHKに入局。多数の番組、ニュース、ナレーションを担当。2005年、女性として初のアナウンス室長。2007年、NHK退職後は、朗読を手掛かりとして「子どものことば」を育てることを目的に、地域作りと言葉教育を組み合わせた独自の活動を続けている。今年で6期目となる朗読指導者養成講座を開講、2018年からは「声の力を学ぶ連続講座」を主宰。



ナレーションでは、TBS「半沢直樹」「ルーズヴェルトゲーム」などを担当した他、現在、NHK「映像の世紀バタフライエフェクト」も担当中。

南吉童話お話の会 でんでんむし／2015年4月に発足。南吉作品をより多くの人に知ってもらい楽しんでもらうことを目的に活動している。作品の朗読、大型紙芝居の制作や上演のほか、オカリナやハーモニカなど楽器演奏者とのコラボレーションなど、さまざまなお話プログラムを企画・上演している。半田市のイベント事業、新美南吉記念館で行われる事業に参加。

6. そのほか ・参加者には朗読DVD（音声と映像）と新美南吉記念館招待券10枚を進呈
・参加は無料ですが、発表会で着用するユニフォーム代（2200円程度）と文学散歩で南吉養家（公益財団法人かみや美術館 分館）を見学する際に300円が必要です。